医療法人 河和会 パークサイドなごみ　広報誌

平成２６年7月10日発行

なごみつうしん

2014年
VO.14

なごみ体育祭

6月16日（月）に施設内にて「体育祭」を開催しました。今回は入所者様と職員が紅白に分かれて競技で競い合います。その競技とは、職員との協力プレーで行なう玉入れ・職員による綱引きとなっており、体育祭を始めるにあたってまずは準備運動の為にみんなでラジオ体操をしました。ほどよく体が暖まったところで第一競技「玉入れ」開始！赤組・白組それぞれの色の玉を真ん中にあるカゴめがけて投げ入れてもらいこぼれた玉は職員が拾い、再度皆さんに投げてもらいます。皆さ苦戦しながらもどんどんカゴの中に入れていきあっという間にカゴの中はいっぱいに！両者とも一歩も譲らない白熱した戦いとなりました。続いて第二競技、職員による「綱引き」！力自慢の職員が真剣勝負で挑み、競技の最中転倒するわ靴は脱げるわなんとも激しい戦いとなりました（笑）　結果は白組が勝利しましたが、紅白ともにお互い譲らない良い戦いとなり、なによりも皆さんが体育祭の中心となり楽しんで頂けていたので本当に良かったです。また次の納涼祭でも、皆さんに楽しんでもらえるように今から着々と準備を進めていきたいと思います◎

ガンバレー！

← ラジオ体操

↓ 玉入れ競争

← 綱引き

おめでとうございます☆

表彰 →

～七夕～ 短冊に願い事を…

7月7日（月）は一年に一度、織姫と彦星が再会することができると言われている「七夕」です。星祭とも呼ばれるこの日は五節句の内のひとつで、短冊を結んだ竹や笹が飾られる風景は夏の風物詩として私たち日本人に古くから親しまれてきました。笹に飾られる短冊には様々な願い事を書き、夜空に輝く織姫星と牽牛星に供えます。こうした習俗は奈良時代に中国から日本に入ってきたものと言われており、一年に一度だけ織姫と彦星が逢えるという有名な話も中国から伝えられました。そもそも日本に七夕という行事がまだ深く浸透していない頃の短冊は紙ではなく五色（ごしき）という糸が飾られていたそうです。この五色とは、中国の陰陽道から生まれた自然を表す「五行説」に因んだもので、青・赤・黄・白・黒の色がが使われていました。それぞれ青が緑の木行、赤は炎の火行、黄は大地の土行、白は土に埋まっている鉱物の金行、黒は命を育む水の水行を表しており、またこの五つの色は人が持っているべき五徳（ごとく）という教えも表しているそうです。

今年もなごみでは入所者様に短冊に願い事を書いて頂き、その短冊を飾った笹を施設の玄関を入って右側に飾っていますので、施設に来られた際は是非ご覧ください。

お好み焼きパーティー！

介護老人保健施設
パークサイド なごみ
医療法人河和会
大阪市東住吉区公園南矢田3-19-12
tel ０６－６６０６－２２１１
http://psnagomi.com